

2005年8月9日

平成17年デジタルカメラ出荷見通し(改定)

有限責任中間法人
カメラ映像機器工業会

(単位:千台)	平成17年見通し			
	改定前(1月公表)		改定後(今回)	
	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)
総出荷	72,200	120.8	64,800	108.4
国内出荷	8,700	101.8	8,400	98.3
輸出	63,500	124.0	56,400	110.1

(単位:千台)	平成16年実績		平成17年 1-6月実績	
	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)
総出荷	59,766	137.7	27,937	105.5
国内出荷	8,547	101.3	3,909	98.9
輸出	51,219	146.5	24,028	106.7

注:数量のうち四捨五入により計算の合わないものがある。

平成17年のデジタルカメラの出荷は、年初の予測は伸び率20.8%を見込んでいたが、前半6ヶ月の実績では伸び率5.5%に留まっている。

このような状況下、当工業会では平成17年通年の出荷見通しの検討を7月に実施し、別表の通り改訂見通しをとりまとめた。総出荷数では、6,480万台と昨年実績比108.4%と見通した。

今回の改訂見通しと年初の見通しの差異要因については以下によるものと推定される。

①年初見通しは、昨年1～10月の実績に基づいて行ったが、急激な普及の進展によるものと考えられる。その後の12～3月の伸び率の低下をその時点では予想できなかった。

②今年の第2四半期は前年比107%と、第1四半期の104%よりやや盛り返しているが、デジタルカメラの普及が高いレベルまで進展して来ている中では、今年後半の大幅な回復は考えにくいと判断した。

* 銀塩カメラの見通しについて

銀塩カメラについては、年初見通しをわずかに下回る実績で推移をしており、通年でも年初見通しをやや下回るものと判断している。